

頼朝、尊氏、謙信、信長、秀吉、家康
武将が愛した名刀、ここに結集

国宝9件、重要文化財22件、重要美術品3件を含む約60件を一堂に公開。

特別展

名物刀剣

— 宝物の日本刀 —

MEIBUTSU Treasured Japanese Swords

平成24年

1月4日(水)→2月5日(日)

■開館時間／午前10時～午後5時(入館は午後4時半まで)

■休館日／月曜日(但し、1月9日(月)は開館、翌10日(火)は休館)

観覧料 一般 1,200円 高・大学生 700円 小・中学生 500円

※20名様以上の団体は一般200円、その他100円割引

※毎週土曜日、小・中・高生入館無料

■主催 徳川美術館・日本経済新聞社
■共催 根津美術館・富山県水墨美術館・佐野美術館
■協力 名古屋市交通局

●記念講演会「名物刀剣 日本刀が宝物になるまで」
佐野美術館館長 渡邊妙子氏
1月7日(土) 午後1時30分～3時
徳川美術館 講堂 ※入館者聴講自由

●新春プレゼント／1月4日(水) 午前10時～
先着50名の有料入館者にオリジナル卓上カレンダーを呈呈

(左) 国宝 短刀 銘 備州長船景光／元亨三年三月日 号 謙信景光 上杉謙信所持

(中) 国宝 太刀 銘 助真 号 日光助真 徳川家康所持

(右) 国宝 刀 金象嵌銘 本多中務所持／正宗 本阿(花押) 名物 中務正宗(桑名正宗) 本多忠勝所持

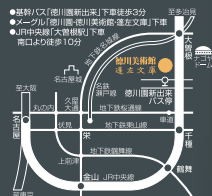
徳川美術館

ホームページ <http://www.tokugawa-art-museum.jp/>

〒461-0023 名古屋市東区徳川町1017

TEL (052) 935 - 6262

THE TOKUGAWA ART MUSEUM



特別展

名物刀剣

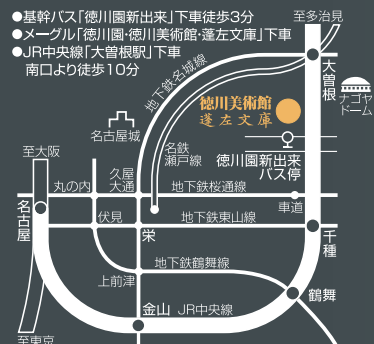
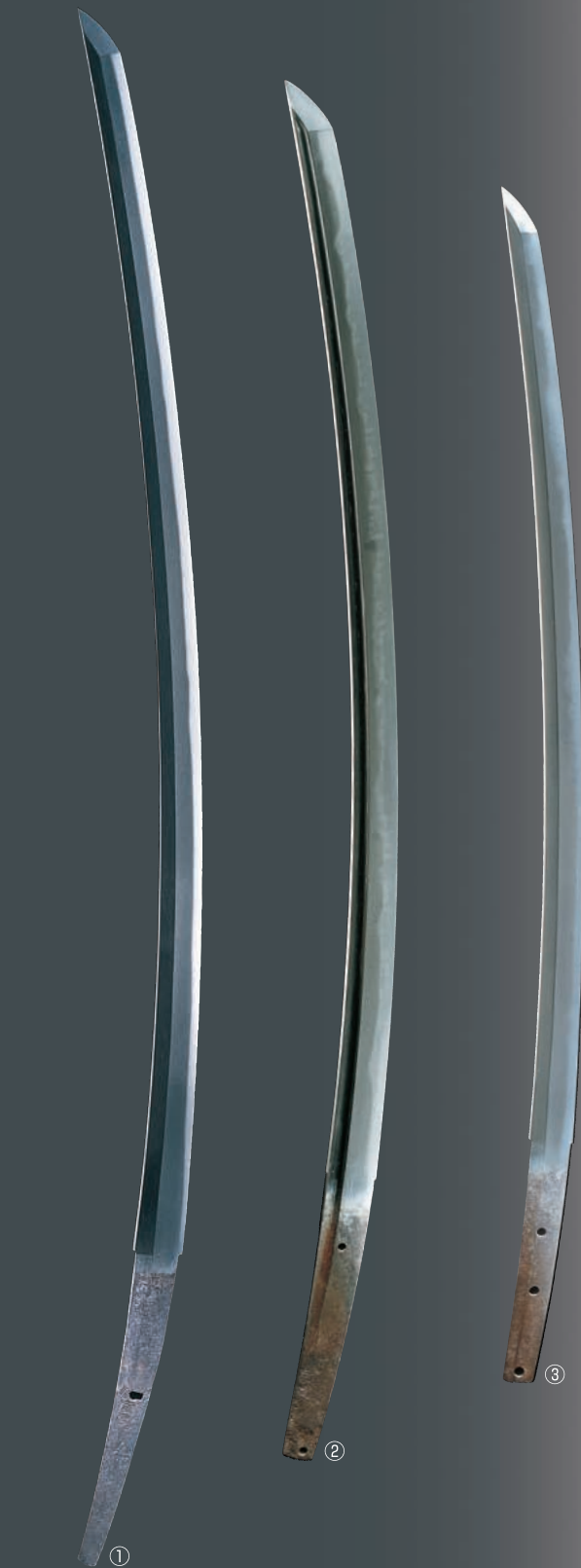
—宝物の日本刀—

MEIBUTSU Treasured Japanese Swords

「日本刀は武士の魂」といわれ、刀剣は武士にとって最も大切な道具でした。戦国時代、天下取りをめざした織田信長・豊臣秀吉・徳川家康らも、「名物刀剣」を大量に手中に収めることに意を尽くしました。

江戸時代には、徳川八代将軍吉宗が本阿弥家に命じて作らせた「享保名物帳」が、「名物刀剣」の評価を定着させました。

本展では、名だたる武士が所持したと伝わる日本刀の名物を中心に、国宝9件、重要文化財22件、重要美術品3件を含む約60件を一室に展示します。



新春特別企画

徳川美術館に初詣辰年のドラゴンズ

平成24年の干支である「龍」をあしらった美術工芸品を第1～5展示室にて展示します。名古屋城の書院を再現した床には陳容筆「龍図」(重文、写真)を飾ります。堂々たる水墨の大幅と金地障壁画の取り合わせは必見です。

期間 1月4日(水)～2月5日(日)



■展示予定作品

- ① 重文 太刀 銘 成高 源頼朝下賜・工藤祐時拝領 京都国立博物館蔵
 - ② 国宝 太刀 銘 助真 号 日光助真 加藤清正献上 徳川家康所持 日光東照宮蔵
 - ③ 重文 刀 無銘 一文字 名物 南泉一文字 足利將軍家伝来 徳川美術館蔵
 - ④ 国宝 短刀 無銘 正宗 名物 庖丁正宗 徳川家康所持 徳川美術館蔵
 - ⑤ 重文 脇指 無銘 貞宗 名物 物吉貞宗 徳川家康所持 徳川美術館蔵
 - 国宝 刀 金象嵌銘 光忠 光徳(花押) 織田信長所持 個人蔵
 - 国宝 刀 金象嵌銘 正宗 本阿(花押) 名物 中務正宗 本多忠勝所持 文化庁蔵
 - 国宝 短刀 銘 備州長船住景光 号 謙信景光 上杉謙信所持 埼玉県立歴史と民俗の博物館蔵
 - 国宝 短刀 無銘 正宗 名物 日向正宗(大垣正宗) 石田三成所持 三井記念美術館蔵
 - 重文 太刀 銘 一 号 姫鶴一文字 上杉謙信所持 米沢市上杉博物館蔵
 - 重文 刀 無銘 伝義弘 名物 村雲江 豊臣秀吉所持 個人蔵
 - 重文 短刀 銘 吉光 名物 信濃藤四郎 永井尚政所持 致道博物館蔵
 - 重文 脇指 銘 来国光 名物 新身来国光 保科正之献上・徳川將軍家伝来 個人蔵
- ほか約60件を展示。 ※期間中展示替えがあります。

蓬左文庫 同時開催

1月4日(水)～2月12日(日)

■展示室1 大名の服飾 ■展示室2 よろいを写す
—源平武將の装い—

◎次回予告

特別展 尾張徳川家の雛まつり

平成24年2月11日(土)～4月8日(日)

◎蓬左文庫 次回予告

展示室1 琉球漆器の美 展示室2 アジアの風

平成24年2月15日(水)～4月8日(日)

